

令和3年度(2021年度)事業報告

令和3年度は、事業計画において、重点とする主な事項として、「プランに基づく事業の実施」「相談窓口の強化」「地域活動支援」「生活福祉資金貸付にかかる支援」「権利擁護と地域生活支援」「老人福祉センター」の6点を掲げて取り組みました。

《プランに基づく事業の実施》では、「かまくらささえあい福祉プラン」の計画期間が令和3年度までとされており、本来であれば改定作業を進める予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化の影響を受け、「かまくらささえあい福祉プラン推進等委員会」での決議を経て、計画期間の2年延長が決定しました。

《相談窓口の強化》では、「なんでも相談」窓口として、市民からの相談をしっかりと受け止め、問題解決や相談者の負担軽減に努めました。相談件数は令和3年度末で、174件となりました。また、今まで以上に相談しやすい体制を作るため、老人福祉センターにおいても「なんでも相談」窓口を展開する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生活支援コーディネーターや地区担当を定期的に相談員として配置した実施までには至りませんでした。

《地域活動支援》では、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化を踏まえた「WITHコロナ」に対応した地域福祉活動の在り方などを地区社協や地域活動団体等と協議しながら新たな活動を模索し取り組みました。各地区社協の会議等へは、感染予防対策に配慮しながら、生活支援コーディネーターや地区担当職員が、地域福祉活動を支える方々と共に人数を絞っての会議開催や、Zoom等のオンライン会議を活用するなど、活動継続を実践しました。

《生活福祉資金貸付にかかる支援》では、県社協からの委託事業である生活福祉資金の貸し付け相談や申請に継続して対応しました。未だ新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが不透明な中、生活困窮者の改善が図られない状況が継続しており、生活再建に向けた相談・支援を行いました。

《権利擁護と地域生活支援》では、就労準備支援事業、日常生活自立支援事業、成年後見センター事業、地域包括支援センター事業等、専門性の高い個別支援事業を多機関と連携し、対象者に寄り添った支援を継続しました。特に、令和3年6月に本会地域包括支援センターが鎌倉市役所本庁舎に移転し、鎌倉市が行う「くらしと福祉の相談窓口」と連携して高齢者等を取巻く課題に向けて、相談体制の強化を図りました。

《老人福祉センター》では、令和3年度から市内5か所の老人福祉センターの指定管理者の指定を受けて引き続き運営をしました。従来 of 運営方針に加え、老人福祉センターを地域福祉の拠点と位置付け、担当職員を配置し多世代交流事業を実施しました。コロナ禍でも5センター合同事業として、「音楽×落語の祭典」合同フェスティバルを鎌倉芸術館で開催しました。また、従来からの名越やすらぎセンターへのマイクロバス送迎に加え、腰越・今泉・玉縄の各老人センターでワゴン車による利用者の送迎をスタートしました。

なお、事業計画に基づく主な取り組みは、以下の通りです。

※ 各表内の下段又は右に記載されている〔括弧〕書きの数値は令和2年度の数値となります。

I 法人運営事業

- ・ 本会では、理事会を中心に本会の業務や運営に関する重要事項の決定を行うとともに、本会の今後に向けた運営体制や財政のあり方について、協議・検討を行っています。
- ・ 令和3年度は、評議員の任期満了に伴い、評議員選任・解任委員会を開催し、所定の手続きを踏まえて評議員選任を行いました。
- ・ 令和3年度からの老人福祉センターの指定管理者となったことを踏まえ、事業実施に向けて契約職員、非常勤職員を採用するとともに、事業計画の着実な履行のため契約職員から正規職員への転任試験を実施し、1名の職員を正規職員に転任させる等人員体制の強化を図りました。
- ・ 例年、実施をしている赤い羽根共同募金事業については、コロナ渦において十分な募金活動はできませんでしたが、多方面からの協力を得て、前年度を上回る募金額が集まりました。
- ・ その他、職員の資質向上、スキルアップを図るため県社協等が主催する研修・講座等への参加、本会での自主研修を開催しました。

1 法人運営のための会議の開催

(1) 理事会を5回開催し、提出された議案はすべて可決されました。

	開催日	主な議案等
第1回	令和3年 5月18日	1 令和2年度事業報告及び資金収支決算について 2 社会福祉充実計画について 3 令和3年度資金収支補正予算(第1号)について 4 評議員・理事・監事選任候補者の提案について 5 評議員選任・解任委員会委員の選任について 6 規程の一部改正について(地域包括支援センター関連規程)
第2回	令和3年 6月18日	1 会長・副会長・常務理事の選定について
第3回 書面会議	令和3年 10月8日	1 定款の一部変更について 2 評議員会の書面決議について
第4回	令和3年 11月22日	1 令和3年度資金収支補正予算(第2号)について
第5回	令和4年 3月11日	1 令和3年度資金収支補正予算(第3号)について 2 規程の一部改正について(事務局職員、育児・介護休業、本部長、入札、福祉活動振興基金等関連規程) 3 令和4年度事業計画及び資金収支予算について 4 福祉活動振興基金の取崩しについて

(2) 評議員会を3回開催し、提出された議案はすべて可決されました。

	開催日	主な議案等
第1回	令和3年 6月4日	1 令和2年度事業報告及び資金収支決算について 2 社会福祉充実計画について 3 令和3年度資金収支補正予算(第1号)について 4 理事・監事の選任について
第2回	令和3年 10月15日	1 定款の一部変更について
第3回	令和3年 12月2日	1 令和3年度資金収支補正予算(第2号)について
第4回	令和4年 3月25日	1 令和3年度資金収支補正予算(第3号)について 2 令和4年度事業計画及び資金収支予算について 3 福祉活動振興基金の一部取崩しについて

2 評議員選任・解任委員会の開催

評議員の任期が満了に伴い本委員会を開催し、18名が選任されました。

	開催日	議案等
第1回	令和3年 5月26日	評議員の任期満了に伴い、評議員18名の選任

3 理事懇談会の開催

本会運営に関して意見交換、情報共有の場として理事懇談会を開催しました。

	開催日	議題等
第1回	令和3年 9月15日	鎌倉市相談支援包括化推進業務委託事業者への応募について
第2回	令和4年 2月18日	令和4年度事業計画・予算編成に向けて

4 福祉活動振興基金管理委員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から状況報告書による書面報告をしました。

	開催日	内容
第1回 書面会議	令和4年 3月8日	福祉活動振興基金積立状況報告

5 役・職員研修の充実

神奈川県社会福祉協議会や鎌倉市主催の外部研修に参加するとともに、本会で研修を実施しました。

区分	内容
本会研修	・個人情報取扱研修(1回) ・ひきこもりについて(1回)

	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策（1回）
外部研修	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業関連講習（8回） ・後見関連講習（10回） ・ボランティアコーディネーター相談員研修（2回） ・地域の助け合い活動研修（2回） ・生活支援コーディネーター養成研修（8回） ・生活困窮者相談支援事業研修（3回） ・地域包括支援センター研修（7回） ・就労準備支援事業関連研修（16回） ・重層的支援体制整備事業関連研修（9回） ・生活福祉資金新任担当者研修（2回） ・県社協新任職員研修（2回） ・福祉教育推進員研修（1回） ・福祉教育情報交換会（1回）

6 共同募金の実施

鎌倉市において赤い羽根共同募金の実施主体は神奈川県共同募金会鎌倉市支会ですが、その事務局は本会に置かれています。

例年どおり自治町内会、民生委員・児童委員、市民の方々の協力により募金活動を行いました。しかし、街頭募金については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保育園、中学校、高校等の参加を見合わせるなど、令和2年度に引き続き規模を縮小して行いました。

実施にあたっては同鎌倉市支会と協働し、社協だより、チラシ作成、ホームページやSNS等で募金の広報を行い、厳しい状況のなかではありましたが、令和2年度を上回る募金が寄せられました。

＜共同募金実績＞

	戸別募金	街頭募金	法人募金	職域募金	学校募金	その他	合計
件数	120,356 [120,884]	※	88 [91]	2 [4]	9 [9]	44 [33]	120,499 [121,021]
金額(円)	19,589,232 [19,508,158]	116,728 [116,246]	795,000 [778,000]	109,222 [149,832]	181,770 [227,815]	725,408 [500,701]	21,517,360 [21,280,752]

※ 街頭募金実施日数：延べ8日 参加者数：7団体90名
[令和2年度は延べ3日 参加者数：6団体67名]

7 福祉関連実習生の受入れ

YMCA健康福祉専門学校から2名、神奈川社会福祉専門学校から1名、明治学院大学から1名の実習生を受入れ、本会として可能な限り実習生の受入れを行うなど、将来の福祉関係者の育成に努めました。

II 企画広報事業

- ・例年9月に実施してきた鎌倉福祉まつりは、福祉関係者や一般市民が集い、福祉意識の醸成を図る場として開催されてきましたが令和2年度と同様、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点や福祉センター等建物補修工事により中止になりました。
- ・本会の事業や役割を市民へ周知するとともに事業の活性化を図るため、市社協の事業を紹介した小冊子（通称：なるほど社協）の令和4年3月版を作成しました。

1 鎌倉福祉まつりの開催

福祉社会づくりの一環として、地域住民、福祉施設、福祉団体等が相互に連携し、連帯意識を持って参画できるイベントとして鎌倉福祉まつりを開催してきましたが令和3年度も開催できませんでした。

令和4年度も市の新型コロナウイルス感染症対策により、例年福祉まつりの会場としている福祉センターの使用が制限されているため、鎌倉福祉まつりの開催は難しい状況です。コロナの収束に合わせて集客する行事・イベントをどの程度再開させるのか状況を見据え、令和4年度の鎌倉福祉まつりの在り方を検討する必要があります。

2 地域福祉推進感謝の集いの開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集いは開催せず、長年福祉活動に貢献された表彰者に賞状と記念品を届けました。また、表彰選考委員会を令和3年10月7日に開催しました。

(1) 特別表彰 15名 [11名]

敬称略

功労の内容	表彰者
福祉施設役員として20年以上在職	宮田 丈乃
ボランティア活動にて20年以上貢献	高橋 マツエ、佐野 美智子、坂井 恵美子、小野田 幸子 赤井 慶子、市井 彌壽子、平倉 淑子、井伊 和子 高橋 豊子、笠江 満起、原 よう子、吉野 智子 加藤 美恵子、林 加壽子

(2) 一般表彰 (28名2団体) [12名5団体]

敬称略

功労の内容	表彰者
民生委員児童委員として10年以上在職	田村 洋子、佐藤 千津、白濱 弥生、青木 ひろみ 松尾 俊一、中村 よしみ、石井 理恵、大窪 名生子 中村 美重子、矢澤 智美、天野 美代子、角田 恭子 伊勢 久美子、浅見 香世子、村田 由美子、市川 悦子 花村 博子、小林 誠、矢澤 昌之、宮田 進
福祉施設役員として10年以上在職	草山 充、糸賀 明広
地区社協役員として10年以上在職	松山 健二
福祉団体役員として10年以上在職	大輪 貴洋、武田 則子、高原 文子
本会の役員として10年以上在職	飯島 知子

ボランティア活動にて10年以上貢献	高橋 昭江
福祉活動振興基金に多額の金円を寄付	円覚寺、三菱電機エンジニアリング株式会社鎌倉事業所 メディアシステム事業所

3 情報発信の取組み

(1) 地域の活きた福祉情報を収集し、ホームページや SNS に掲載した他、関係者との情報共有に努めました。

(2) 「社協だより」を年4回（5月・8月・11月・2月）全戸に（77,000部）配布するとともに本会や本会の事業を紹介するための小冊子を作成するなど、福祉情報の提供及び本会の PR に努めました。

＜社協だよりの主な内容＞

発行月	主な掲載内容
令和3年 5月号	・令和3年度からの老人福祉センターの新たな取組み
〃 8月号	・地域包括支援センター鎌倉市社会福祉協議会が市役所本庁舎に移転 ・地域包括支援センターをお気軽にご利用ください!!
〃 11月号	・共同募金運動展開中 ・令和3年度社会福祉功労者の紹介
令和4年 2月号	・「福祉教育」の推進 ・みんなのボランティア活動の「はじめの一歩」を応援

Ⅲ ボランティアセンター活動事業

- ・市民のボランティア活動への参加意欲を高め、ボランティア活動の振興を図るとともに、広く社会福祉の向上発展に寄与するため、ボランティアセンターを本会に設置しています。ボランティア相互の連携を図り、ボランティア活動を通じて地域福祉の一層の向上を図るため、柔軟なセンター運営が円滑に行えるようかまくらボランティアセンター運営委員会を再開しました。
- ・本会では、将来を担う人材を育成するため、「福祉教育の推進」に取り組んでおり、その一環として、学校との個別相談や講師の紹介、機材の貸出し等を実施しています。令和3年度は、福祉に関する動画アニメや、事前に収録した講師の講話を使用するなど、コロナ禍において実施可能な取組みを行いました。また、福祉教育の対象者を小・中学校以外へも広げるため周知に努め、今年度は3か所の「放課後かまくらっ子」にて実施しました。

1 ボランティア講座・研修の開催

(1) こどものおもちゃの修理を目的として活動する「おもちゃ Drs かまくら」の協力を得て、新規活動者のボランティア活動への参加のきっかけづくりを行うため、「おもちゃ Drs 養成講座」を開催

しました。本養成講座は、かまくらボランティアセンターと「おもちゃ Drs かまくら」が共催で実施し、11名の受講者のうち、7名が新規活動者としてかまくらボランティアセンターに登録されました。

- (2) かまくらボランティアセンターと「おもちゃ Drs かまくら」が共催で実施した本教室は、新規おもちゃドクターが講師を務めることにより、「おもちゃ Drs かまくら」の活動者としての定着及び多世代交流を目的として、子どもと一緒におもちゃを作る「LED付電子オルゴール教室」を開催しました。

開催日	内 容	受講者
令和3年11月26日	子どもとおもちゃドクターと一緒に電子オルゴールの組立てを体験	13名

- (3) 男性がボランティア活動に参加するきっかけづくりとして、「令和3年度教養センター冬期専門講座『男性のためのボランティア講座～楽しくボランティア～』」を開催しました。本講座は、幅広い年齢層に受講してもらうため、高齢者を対象とする教養センターと、対象年齢を問わないかまくらボランティアセンターが共催して令和4年1月～3月まで実施し、11名の受講者のうち、3名が新規活動者として登録しました。

- (4) ボランティア活動支援事業「はじめの一步」

「はじめの一步」登録者	6名（うち、4名が新規登録者）
-------------	-----------------

- (5) ボランティア連絡協議会とかまくらボランティアセンター共催で、定例委員会委員を対象にしたミニ研修を開催し40名の参加がありました。ボランティア活動の依頼が多い有料老人ホームの知識を得るため、「有料老人ホームとは？」をテーマとしました。ミニ研修は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大のため、1回の実施となりました。

2 ボランティア相談の状況

相談者	相談者の区分	相談内容	相談件数
市民等	高齢者	植木剪定、家具移動、家の一部修繕	21〔9〕
	障害児・者	外出援助、見守り等	7〔8〕
	団体	レスパイトサービス協力、イベント時のアトラクション等	8〔15〕
	施設	イベント時のアトラクション、傾聴等	5〔5〕
	行政	講座・講習時の保育等	12〔4〕
	学校	点訳作業、校内・校外学習時の介助・福祉教育等	11〔11〕
ボランティア	活動希望者	傾聴、子ども食堂、退職後の生きがいづくり等	14〔22〕
	活動者	活動場所、広報、メンバー募集等	29〔45〕
その他		ボランティア保険、サロン活動等	428〔266〕
計			535〔385〕

3 ボランティアとの連携

- ・平成18年以降休会状態となっていたかまくらボランティアセンター運営委員会について、新たに令和3年4月1日付けでかまくらボランティアセンター運営要綱を設け再開し、ボランティア活動の在り方について協議を開始しています。(7月19日・12月22日)

4 ボランティアセンター活動者に対する相談・支援

- ・新型コロナウイルス感染症拡大が続いている状況で、今年度こそはなんらかの形で活動を再開したいといった相談がボランティアグループから寄せられ、感染リスクを避けながら新しい活動方法を提案しました。
- ・令和3年度に解散するボランティアグループから今まで使用していた子ども用の玩具を有効活用して欲しいといった相談が寄せられ、市内の子育て支援センターを紹介し、寄付することができました。
- ・個人登録ボランティア「はじめの一步」の活動先の開拓を行い、高齢者施設のほか、地域活動支援センター、就労継続支援事業所、生活介護事業所、放課後等デイサービスセンター、児童発達支援施設、子ども食堂、食糧支援団体、当事者団体からボランティア受入可能との回答をいただくことができました。
- ・ボランティア活動中の事故等に対応した傷害保険料の助成をするとともに、各種の手続きについて相談対応しました。

ボランティア活動保険の掛金助成費用の内訳

区 分	人数(名)	金額 (円)
かまくらボランティアセンター	1,230 [1,259]	430,500 [440,650]
玉縄地区ボランティアセンター	35 [39]	12,250 [13,650]
大船地区ボランティアセンター	38 [65]	13,300 [22,750]

5 福祉教育への啓発と支援

(1) 福祉教育に関する支援

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大のため、例年よりも実施校が少なくなりましたが、小中学校以外で実施することができました。

区 分		参加者(延べ)	内 容
小学校	公立	8校 780名 [13校 1,191名]	点字版体験、認知症サポーター養成講座、要約筆記体験、車いすバスケット、聴導犬のお話、防災とふくしのお話等
中学校	公立	8校 283名 [0校 0名]	車いす体験、視覚障害者誘導体験、盲導犬ユーザーのお話等
	私立	3校 528名 [3校 536名]	視覚障害当事者からの講話、車いすバスケット、ボランティアに関する話等
その他 (放課後かまくらっ子)		3か所 129名 [—]	聴導犬のお話

(2) 福祉教育に関する啓発

福祉教育の推進のため、校長会、教頭会、鎌倉市学校教育研究会小学校・中学校総合部会において、「令和3年度版福祉教育プログラム」を配布し、福祉教育の周知を行いました。また、令和4年度の福祉教育プログラムの内容を充実させるため、アルペなんみんセンターなど新しい分野の講師と調整をし、承諾を得ることができました。

会議名	日程
校長会	令和4年2月24日
教頭会	令和4年3月11日
鎌倉市学校教育研究会小学校総合部会	令和4年2月9日
鎌倉市学校教育研究会中学校総合部会	令和4年2月24日

IV 地域福祉推進事業

- ・地域福祉活動を推進していくため、「かまくらささえあい福祉プラン(第5次鎌倉市地域福祉活動計画)」の最終年として3年間の総括を行うとともに、次期計画の策定作業を進めていく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な活動が計画的に展開できなかったことから、推進等委員会で協議を行い、現行計画を令和5年度末までの2年間延長することとしました。
- ・「なんでも相談窓口」は、本会が従来から実施している生活福祉資金貸付事業や地域包括支援センターによる総合相談など、各種相談事業のどの区分にも当てはまらない相談をなんでも相談として受け止めることとし、設置しています。令和3年度の相談受付件数は合計で174件となり、特に、新型コロナウイルス感染症に関する相談が多く寄せられました。相談者の不安や精神的な負担を軽減すべく、相手に寄り添った対応を心掛けました。令和4年度も引き続き本会の地域福祉ネットワーク機能を発揮することで地域共生社会への動向に合わせた活動展開を目指していきます。

1 かまくらささえあい福祉プラン推進等委員会の開催

令和3年度は令和元年4月から令和4年3月までの3カ年計画である、かまくらささえあい福祉プラン(第5次鎌倉市地域福祉活動計画)の最終年度でした。本来であれば、計画の進捗状況を審議するかまくらささえあい福祉プラン推進等委員会を開催するところでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、通常の対面による開催ができませんでした。

代わりに令和4年2月に書面会議を開催し、令和3年度の取組みに対する評価、意見を集約しました。その結果を踏まえ、コロナウイルス感染症の収束状況を見据えながら、令和4年度の取組みに活かしていくこととしました。

2 なんでも相談窓口

- ・令和3年度の相談件数は174件で、令和2年度の55件を大幅に上回りました。これは、「なん

でも相談窓口」の機能が徐々に周知されてきたことが要因と思われます。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、地域や施設でのイベントが開催されず、バザーも実施できなかったことから、寄付物品関係の相談が多かったと思われます。
- ・つなぎ先が必要な場合は、事前に先方に確認してから相談者に紹介するなどし、相談のたらいまわしにならないよう注意しました。主なつなぎ先は、鎌倉市、地域包括支援センターでした。また、市や他団体からも様々な相談が寄せられるようになり、連携が図れる関係性が構築されてきました。

＊相談等件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
16	23	23	20	23	15	9	4	4	21	8	8	174 [55]

＊相談内容

寄付物品関係	31件	コロナワクチン関係	26件
家族関係	24件	傾聴	20件
情報関係	14件	活動・居場所関係	14件
行政関係	7件	障害者関係	7件
自殺関係	4件	食糧支援関係	1件
その他	24件	合計	174件

3 その他の地域福祉推進事業

(1) フルーツ缶詰配付事業

新型コロナウイルス感染症が長引く影響で、依然としてひとり親世帯や生活困窮世帯が厳しい生活状況におかれているため、フルーツ缶詰の寄付を募り、上記の世帯に配布する食糧支援事業「フル缶」を実施しました。配布方法は、市内でひとり親世帯や生活困窮世帯へ月1回食糧配付をしている支援団体へ同梱する形で実施しました。(243缶の寄付をいただきました。)

(2) 食糧支援事業（通年）

本会の窓口等において、常時、緊急的な支援を行うための食糧を備蓄することにより、必要に応じて生活困窮者等に対して即時に食糧支援事業を実施できる体制を整えました。対象者は、本会窓口对生活福祉資金の相談等に来所した方などで、市生活福祉課やインクル相談室鎌倉等と連携して配布しました。

＊主な配布先（紹介元）

市生活福祉課	9件	日常生活自立支援事業	4件
インクル相談室鎌倉	10件	訪問看護事業所	10件
地域包括支援センター	11件	その他	2件
生活福祉資金貸付事業	1件	合計	47件

(3) 災害ボランティアセンター運営準備マニュアルの整備

鎌倉青年会議所が主催の「鎌倉市災害ボランティアセンター設置訓練公開委員会」に出席し、青年会議所、市総合防災課及び福祉総務課と意見交換を行いました。(第1回 10/21、第2回 10/28、第4回 11/11、訓練当日 11/21)

また、災害ボランティアセンター設置運営マニュアル(案)の完成と内容向上のため、三者が定期的に話し合いの場を継続することを確認しました。

(4) 災害をテーマとした研修会等へ参加

開催日	内 容
令和3年 4月 26日	事務局内における HUG 勉強会
令和3年 10月 28日	防災担当者情報交換会 (Zoom 開催) 県社協主催
令和4年 1月 12日	災害時の連携を考える神奈川フォーラム (Zoom 開催) 災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ主催

4 各種部会の開催・支援

(1) 地区社協部会の開催

	開催日	内 容
第1回	令和3年 4月 22日	(1) 正・副部会長の選出及び市社協理事及び評議員候補者の推薦について (2) 地区社協助成金の報告及び申請手続きについて (3) 部会の年間スケジュールについて
第2回	令和3年 11月 2日	(1) 地区社協助成金の報告書について (2) 各地区社協の活動状況について(情報交換) (3) 市地域共生課から地域共生社会の実現に向けた説明
第3回	令和4年 3月 4日	(1) 市高齢者いきいき課から協議体等についての説明 (2) 地区社協助成金について (3) 各地区社協の活動状況について(情報交換)

(2) 施設部会(全体会)の開催

	開催日	内 容
第1回	令和3年 4月 13日 (書面開催)	(1) 施設部会役員の選任等について ・児童・障害・高齢の3種別会議の正・副種別長の選任 ・施設部会(全体会)正・副部会長の選任 ・市社協理事及び評議員の候補者推薦 (2) 施設部会令和3年度の活動予定

(3) 団体部会の開催

	開催日	内 容
第1回	令和3年 4月14日	(1) 正・副部会長の選出について (2) 鎌倉市社会福祉協議会理事及び評議員候補者の推薦について (3) コロナ禍における取り組み、活動上の課題などについて意見交換

5 市民や団体等に対する各種備品の貸出

備品の種類	貸出件数及び回数
車いす	95件 [77]
催事用備品	18件 [0]
布おもちゃ・布遊具	1団体2個人3回 [一]

V 重層的支援体制整備事業

少子高齢化、家族形態の変化、社会的孤立など社会の変化に伴って生じている、複雑化・複合化した課題に対応するため、社会福祉法が改正され令和3年4月1日から「重層的支援体制整備事業」が創設されました。

鎌倉市では、令和4年度から本格実施する本事業への移行事業として、各分野のつなぎ役・調整役として「多機関協働事業」、社会とのつながりを作るための支援を行う「参加支援事業」の2つの事業を一体的に実施する「鎌倉市相談支援包括化推進業務」を令和3年11月より本会が受託し「Libero かまくら」の名称で事務所を開設し事業に取り組みました。

事業開始当初より、多機関協働事業においては、相談支援機関等に対し事業周知・関係づくりを行い、相談支援機関等が抱えている複雑化・複合化したケースについて課題の解きほぐしを行うことに努めました。また、参加支援事業においては、地域の社会資源や支援関係機関とのつながりを作り、支援が必要な時に迅速に対応できるよう情報収集及び関係づくりに努めました。

1 Libero かまくらへの相談件数

	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回相談	1件	4件	4件	2件	2件	13件
継続相談	-	5件	15件	9件	6件	35件

2 Libero かまくらのその他の活動

項 目	回 数 等
管理者ミーティング	25回
地域共生課との打合わせ	7回

関係者・協力者との打合わせ	4回
相談支援機関へのヒアリング・状況調査	延べ37事業者
各種ケース会議	20回
研修会参加	5回

VI 生活支援体制整備事業

- ・本事業は、介護保険法に基づき実施するもので、平成30年より本会が鎌倉市から業務を受託し実施しています。当該事業は、生活支援コーディネーターの配置や多様な主体が連携する場である協議体の設置を行うことにより、地域住民やNPO、ボランティアなどの多様な主体が連携しながら、地域ネットワークの強化や地域の互助を高め、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めるものです。
- ・鎌倉市では、市内5行政区(鎌倉・腰越・深沢・大船・玉縄)ごとの協議体の設置を目指しており、それぞれの地区に生活支援コーディネーターを配置し、多様な事業主体と連携しながら高齢者の日常生活に必要な支援体制の充実・強化を図るとともに、高齢者の健康増進と介護予防を目的とした社会参加を推進しています。令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、協議体活動の大きな進展には至りませんでした。
- ・本会の独自の事業として、生活支援コーディネーターが中心となり、個人宅や空き店舗等を活用することにより、近隣住民が集うことができる場となる「近所の団らん助成事業」は、コロナ禍においても8団体増え、11団体の活動実績がありました。

1 地域の社会資源の情報収集

新型コロナウイルス感染症拡大により、各地域で開催されているサロンや体操教室などが休止となったところもありましたが、感染予防や工夫により、継続・再開したところもありました。

地域の高齢者が集う場や生活支援に関する取組み等の社会資源の情報収集を行うとともに、集いの場等に赴き、社協だより、フェイスブック等で情報発信を行いました。

内 容	回 数
・地域で高齢者が集う場や高齢者の生活支援に関する社会資源の情報収集・発信	21 [47]

2 生活支援ニーズの把握・共有

コロナ禍におけるシニアの生活に関するニーズ把握するため、地区社協との意見交換や地域包括支援センター地域連携担当と定期的に情報共有を図るなど、アセスメント等地域課題の把握を行いました。

内 容	件 数
・高齢者の日常生活での困り事や必要な支援の把握	29
・高齢者の生活支援者からのニーズ把握・共有	[89]

3 生活支援サービスへの活動支援

コロナ禍であり、活動は限定的でしたが、鎌倉市の介護予防日常生活支援総合事業における住民主体サービスへの補助制度や本会が独自に行う「近所の団らん助成事業」の周知及び高齢者生活支援に関する住民主体の活動支援を行いました。

内 容	件 数
<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体のサービス補助制度の周知、点検、活動支援 ・高齢者の生活支援に関する住民主体の活動に対する活動立上げ、継続時の活動支援 	241

4 ネットワークの構築・協議体の設置及び運営

新型コロナウイルス感染症拡大により、各地区の会議などの中止や延期を余儀なくされていましたが、感染拡大防止に配慮し、協議体や地域の既存の会議等へ参加する中で、協議体設置の理解を得る説明や話し合いの機会を作るよう努め、協議体運営について地区社協をはじめ鎌倉市及び地域包括支援センター等と協議・連携を行いました。

内 容	件 数
<ul style="list-style-type: none"> ・地区・自町連・民児協の会議への参加及び関係者との打合せ、調整 ・協議体の実施に向けた協力 	844

・令和3年度は準備会を含めた6地区（第三地区社協エリア、材木座地区社協エリア、腰越地区社協エリア・深沢地区社協エリア・大船地区社協エリア・玉縄地区社協エリア）で活動しています。

行政区	協議体の設置等に向けた主な取組み状況
鎌倉地区	<p>第一地区社協では地域包括支援センターと協働し、地区社協役員会に地域の社会資源を示せるよう、地域の情報掲載のマップを作成しました。それらを元に協議体構築に向けた役員会を進めています。</p> <p>材木座地区社協では、見守り活動についてアンケートを実施し、その結果を元に話し合い、冊子を作成しました。11月には自治会長に冊子を配布するとともに、説明を行い協力が得られることになりました。</p> <p>第三地区社協では「ふれあいのまちづくり推進部会」を協議体と位置づけ3回開催しました。6月に民児協による「コロナ禍におけるひとり暮らし高齢者アンケート」を行った結果、自粛生活による心身への不安があること、それに対し周りからの声かけや見守りが高齢者に安心感を与えていることがわかり、地域福祉活動の継続の必要性が確認されました。また、災害時の地域活動についても話し合いを進めています。</p>
腰越地区	<p>年4回予定されていた「腰越地域高齢者等支援連絡会議」（協議体）は、コロナ禍で1年振りの11月に第2回を開催しました。3月に予定されていた第3回については、オミクロン株のまん延防止重点措置に伴い中止となりました。</p> <p>毎月1回開催されている「西鎌倉責任者会議」において、協議体は高齢者の課題を中心とすることについて地区社協として疑問があり、重層的支援が求められるとの意見で、協議体として疑問が呈されました。そのため、これまでの協議体については賛同を得られていない状況です。</p>

深沢地区	<p>「深沢地区の高齢者福祉を考える協議体（通称深沢会議）」では、令和3年10月から各自治町内会で「ゆるやかな見守り活動」がスタートしました。案内チラシやポスター、ステッカーを作成し、住民への周知と協力を広げ、現在11の自治町内会で見守り活動を実施しています。今後は店舗や関係団体にも協力を依頼していく予定です。また、高齢者や民生委員の見守り登録者にコロナワクチンに関する情報提供を行うため、「深沢会議だより」を年6回発行しました。</p>
大船地区	<p>大船地区協議体準備会は「大船いきいきプロジェクト」として実行委員会が新たにスタートし、9回開催しました。大船地区2か所の地域包括支援センターからの地域課題提出、地域活動している団体からの活動内容と課題取材を行い、準備会で報告を行うとともに、サロン・サークル活動に関するアンケートを令和4年3月に実施しました。令和4年度にそれらを分析し、協議体で取り組むテーマを決定する予定です。</p>
玉縄地区	<p>玉縄地域福祉ネットワーク会議（協議体）は企画会議を含めて5回開催し、「虹色健康マイスター養成講座」など新型コロナウイルス感染拡大が長期化する中で地域のつながりを確保していくための地域福祉活動について協議を行いました。</p> <p>地域アセスメント活動では、地域住民の方々が主体となり玉縄地域内を5コースに分けて現地踏査を実施し、地域課題の確認を行いました。また、現地踏査の成果物をインターネットコミュニティサイト「マイタウン玉縄」に掲載し、地域住民の関心を喚起しました。今回の現地踏査の結果を踏まえ、地域住民の方々は今後、高齢者の外出支援や高齢者介護施設などテーマを絞り込んで、地域アセスメントの活動を深化させていく予定です。</p>

VII 日常生活自立支援事業

- ・本事業は、軽い認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な方が、地域で安心して自立した日常生活が送れるように、本会が利用者との契約に基づき金銭管理、預貯金通帳や各種証書等の重要書類の保管のほか、福祉サービス等の利用の支援を行う事業です。
- ・令和3年度は5名の新規利用者があり、年度末現在の利用者は26名（高齢者6名、知的障害者7名、精神障害者8名、身体障害者5名）となっており、ニーズは高い状況にあります。また、利用者のうち生活保護受給者は14名でした。
- ・サービス開始時や支援計画変更の際には、局内カンファレンスを実施するとともに、必要に応じて関係機関とのカンファレンスやケース検討会を随時開催するなど、利用者の自立生活に向けた取り組みを行っています。また、例年実施している障害者相談支援事業所や地域包括支援センター等に対する研修会、説明会については、コロナ禍に配慮し、実施しませんでした。

1 利用者数(新規契約含む)

サービス内容	年間利用者数 (延べ)	新規契約	年度内終了者
福祉サービスの利用支援、日常的な金銭管理	352 [361]	5 [10]	10 [5]
証書や印鑑などの預かり	1 [1]	0 [0]	0 [0]

2 局内カンファレンス(ケース検討会)の開催

年間 17 回開催し、新規契約 5 件、契約終了 6 件、支援計画変更 28 件等の内容を処理しました。

3 生活支援員の資質向上

生活支援員との意見交換会(令和3年5月14日(金)、12月1日(金)、令和4年3月25日(金))を3回開催し、個別支援(利用者)の状況や課題の共有を図るとともに支援時の注意事項についても専門員と情報交換を行いました。また権利擁護関連の情報を共有するため、法人後見担当職員も参加しました。

VIII 成年後見センター事業

- ・本事業は、認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を円滑に利用し、住みなれた地域で個人の尊厳を保ちながら安心して暮らせるよう成年後見制度に関する相談に対応するとともに、福祉関係者や一般市民を対象とした講座の開催や研修会により制度の周知・啓発を図っています。
- ・成年後見センターに寄せられる相談内容は、長寿社会の進行、家族関係の変化、家族や本人を取り巻く環境の変化等により、個別化、専門化しており、弁護士や司法書士等の専門家と連携を図りながら相談に対応しました。
- ・判断能力が低下した人たちや周りの家族は、相談の過程で金融機関とどう向き合うか悩みを抱えており、金融機関にパンフレットを配布するなど、制度の周知に努めました。
- ・また、令和2年度に引き続き令和元年度に実施した市民後見人養成講座(実践研修)の修了者4名に対し、フォローアップ研修を実施し、法人後見制度の利用者への訪問・支援に同行するなど実践的経験を積んでもらいました。

1 成年後見相談対応件数

(1) 弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士による定例相談(専門相談)件数

	認知症高齢者等	知的障害者	精神障害者	その他	計
初回相談	16 [10]	2 [2]	1 [5]	4 [1]	23 [18]
継続相談	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]
合計	16 [10]	2 [2]	1 [5]	4 [1]	23 [18]

(2) 随時相談件数

	認知症高齢者等	知的障害者	精神障害者	その他	計
初回相談	95 [101]	12 [15]	6 [15]	20 [14]	133 [145]
継続相談	51 [89]	12 [18]	4 [19]	6 [7]	73 [133]
合計	146 [190]	24 [33]	10 [34]	26 [21]	206 [278]

2 権利擁護の普及啓発

成年後見制度の利用に関する広報・啓発及び権利擁護の普及啓発を目的とした市民向け講演会の開催及び福祉サービス事業所職員向け研修会を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、実施回数、参加人数ともに小規模に抑えて実施しました。

開催日	内 容	講 師	参加者 (名)
令和3年 6月16日	・聞いて良かった成年後見制度	司法書士 池田忠広氏他	福祉サービス事業所職員 17名
令和3年 7月20日	・社会的課題を抱えた世帯への支援について	弁護士 鈴木洋平 氏	市内在住者 17名
令和3年 10月6日	・成年後見制度の基礎的理解	社会福祉士 金井直子 氏	青い麦の会 会員 12名
令和4年 3月10日	・権利擁護の視点と成年後見制度	弁護士 熊澤美香氏	福祉サービス事業所職員 30名
計4回 [4回]			76名 [97名]

Ⅸ 法人後見事業

- ・判断能力が不十分なために契約や財産管理ができない人の成年後見人等について申込みいただき、本会の法人後見審査会にて承認され、本会を候補者として後見等開始申立て後に審判が下りた人に対して法人として成年後見人等を受任しています。
- ・専門員のスキルアップのために県社協等が主催する研修に参加するとともに、支援を行う中で生じた課題や問題については弁護士、司法書士等専門家の助言を受け、実績を積んでいます。令和4年3月末日時点の延べ受任件数は14件になります。うち1件は終了しています。

1 新規受任実績7件 [3件]

対象者 区分	年齢	類型	審判確定日	申込経緯
高齢	79歳	後見	令和3年6月1日	支援する親族が不在である。
障害	70歳	後見	令和3年6月10日	障害理解が必要であり、身上保護中心の支援が見込まれる。(司法書士と複数後見)

高齢	96歳	後見	令和3年7月14日	支援する親族が不在である。
高齢	69歳	後見	令和3年7月16日	日常生活自立支援事業からの移行案件。支援する親族が不在である。
高齢	94歳	後見	令和3年8月13日	支援する親族が不在である。
障害	34歳	保佐	令和3年10月1日	長期的支援が見込まれる。
高齢	89歳	後見	令和4年2月2日	日常生活自立支援事業からの移行案件 支援する親族が不在である。

2 法人後見審査会の開催

令和3年度は3回の審査会（令和3年5月24日、6月21日、10月14日）を開催し、審議案件数5件のすべてが承認されました。

X 就労準備支援事業

- ・本事業は、いわゆる「ひきこもり」などの課題があり、社会とのかかわりに不安を抱えている方など、ただちに就労が困難な方に対して支援を行う、就労準備支援事業を鎌倉市から受託し、「スリー・プラス 鎌倉」という事業所名で大船で事業を行っています。就労準備支援事業は、生活困窮者自立支援制度の一つであり、規則正しい起床・就寝や食習慣の形成といった日常生活の自立のための支援から、職場見学やボランティア活動といった社会生活自立への支援、就労体験の場の提供やビジネスマナー講座、履歴書の作成などの就労自立への相談・支援などを行っています。
- ・福祉事務所及び自立相談支援機関の他、支援関係機関との連携・調整を図るとともに利用者の意向を尊重しながら自立に向けた支援を行っています。
- ・本事業は「スリー・プラス鎌倉」という事業所名で、事業開始から3年目を迎え登録利用者も5名増え12名（未登録利用者1名 合計13名）の他、継続相談ケース13名になりました。面談の他、就労体験先と調整を重ね利用者に適した体験と場所が提供できるように努めており、令和3年度は、ハローワーク藤沢を利用し、求職活動を行った者が3名となり、内2名が就労し、現在も1名がハローワーク藤沢を利用し求職活動を行っています。

1 登録利用者 12名

本事業は基本的に福祉事務所及び自立相談支援機関における面談や調整を経て利用者が決定することとなっています。現在、12名の登録者があり、週に1回～2回程度の通所による支援を行っています。

12名とも支援員とのコミュニケーションを図りながら軽作業や就労体験等を実施しており、更なる自立に向けた支援を行っていくこととしています。

毎週水曜日の午前中にスリープラス鎌倉をフリースペースとして開放しており、現在2名が利用

しています。

2 他の相談件数 13件

現在、本事業の利用登録には至っていませんが、利用に向けて関係機関と調整・相談等を行っているケースが13件あります。13名のうち5名がスリー・プラス鎌倉の利用に繋がっています。

インクル相談室鎌倉	4件	鎌倉市	6件
当事者	1件	当事者の家族	2件

3 主な相談内容

- ・日々の生活が昼夜逆転し一日の生活リズムが狂っているのですぐに仕事に就くことが難しい。
- ・過去の就労体験で人間関係がうまくいかず働くことが怖くなり仕事に就くことが難しい。
- ・自宅に引きこもっており、現在は親がいるので心配ないが今後ひとりになった時に自立した生活ができるか心配である。
- ・何度も就活に失敗し、就職面接の際にどの様に受け答えをして良いのか、どの様な服装で面談を受けたら良いのか分からない。

XI 援護事業

- ・本事業は、鎌倉市及び神奈川県社会福祉協議会からの委託により、生活困窮者への資金の貸付・相談業務を実施しています。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴って実施された特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）は、令和2年3月25日から始まり令和3年度も続いている状況です。令和3年度は、特例貸付の緊急小口資金は367件（約6,710万円）、総合支援資金は754件（約3億9,810万円）の申請があり、事務局内で協力体制を整えるとともに、関係機関と連携をとりながら円滑な対応に努めています。

1 緊急援護金の貸付け・支給

鎌倉市からの受託事業として低所得世帯等に対し、緊急援護金の貸付け等を実施しました。

種類	件数	貸付・給付金額（円）
貸付	48 [42]	883,000 [825,000]
行路者小口給付	17 [29]	30,180 [26,350]
計	65 [71]	913,180 [851,350]

2 生活福祉資金貸付事業

神奈川県社会福祉協議会からの受託事業として低所得世帯等に対し、相談に応じるとともに自立更生に必要な資金貸付を行っていますが、令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施された特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）への対応を令和3年度も引き続き行いました。

相談に関する状況

相談件数	相談合計	制度内容相談	貸付相談	償還相談
	1, 257 [6, 127]	561 [2, 385]	501 [3, 568]	195 [174]

貸付けに関する状況（特例貸付を除く）

区 分	種 類	貸付件数	貸付金額（円）
総合支援資金	住宅入居費	0 [0]	0 [0]
	生活支援費	0 [0]	0 [0]
	一時生活再建費	0 [0]	0 [0]
生活福祉資金	福祉費（技能習得・生保エアコン）	2 [2]	1, 438, 000 [1, 536, 000]
	教育支援資金 ^(※)	7 [5]	4, 643, 000 [3, 367, 000]
	緊急小口資金	2 [4]	200, 000 [400, 000]
臨時特例つなぎ資金	臨時特例つなぎ資金	0	0 [0]
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金（要保護型）	1 [0]	22, 315, 000 [0]
計		12 [11]	28, 596, 000 [5, 303, 000]

特例貸付申請件数の状況

区 分	種 類	申請件数	申請金額（円）
生活福祉資金	緊急小口資金	367 [924]	67, 110, 000
	生活支援費	754 [1098]	398, 120, 000
計		1121 [2022]	465, 230, 000

3 年末たすけあい援護事業

市内で寄せられた年末たすけあい募金の有効かつ適正な配分を図るため、年末たすけあい募金配分等委員会を令和3年11月に開催し、福祉団体等へ配分しました。

配 分 先	団体等数	配分金額（円）
福祉当事者団体	13 [13]	690, 000 [683, 000]
地域活動支援センター	10 [10]	600, 000 [600, 000]
就労支援施設及び就労継続支援施設	13 [12]	780, 000 [720, 000]
自立訓練施設及び生活介護施設	2 [2]	120, 000 [120, 000]
ボランティア連絡協議会	1 [1]	60, 000 [60, 000]
地区社会福祉協議会	7 [8]	420, 000 [480, 000]
計	46 [46]	2, 670, 000 [2, 663, 000]

4 罹災世帯への見舞金の支給

市内で発生した火災による罹災世帯に対し見舞金を支給しました。

種類	件数	支給額(円)
全焼	8 [5]	160,000 [100,000]

XII 助成事業

- ・福祉当事者団体及び各地区社会福祉協議会に対して、それぞれの組織の円滑な運営と事業の推進を図るため運営費等の一部を助成しています。また、鎌倉市内のボランティアに対しては、それぞれのグループ等の行う自主的な福祉活動や資質向上のための学習に要する経費の一部を助成しました。

1 地区社会福祉協議会への助成

各地区社会福祉協議会に運営費、特別事業費（給食事業費、拠点維持費）、活動計画推進事業費の助成を行いました。

対象	対象数	支給額(円)
地区社会福祉協議会	9 [9]	5,500,000 [4,838,908]

2 団体等への助成

対象	対象数	支給額(円)
福祉当事者団体	11 [10]	445,000 [425,000]
ボランティア連絡協議会	1 [1]	200,000 [200,000]
ボランティアグループ	13 [19]	670,000 [645,000]
鎌倉市ホームヘルプ連絡会	1 [1]	400,000 [400,000]
福祉関係団体	1 [1]	10,000 [10,000]
計	27 [32]	1,725,000 [1,680,000]

XⅢ 地域包括支援センター事業

- ・地域包括支援センターは、高齢者をめぐる不安や相談に保健師・看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等が対応することで、地域住民の心身の健康・生活の安定に必要な支援を行っており、本会は、市内10カ所ある地域包括支援センターの1つに位置付けられ、令和3年6月に事業所を鎌倉市役所本庁舎に移転しています。
- ・介護や介護予防に関する相談、高齢者の人権や財産を守る取組み、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるための様々な機関とのネットワークづくりや適切なサービスの提供、介護予防教室や介護予防ケアプランの作成など、業務は多岐にわたっています。
- ・令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響は継続している状況ですが、家族介護教室を開催しました。感染症予防に努めながら、市内事業者等と連携して事業を継続し、特に長期化するコロナ禍の影響で介護サービスの利用を控えている利用者への定期的な連絡や見守りを行うことで身体状況の異変などの早期発見に努めました。また、平成31年度より自主事業として開催している「わくわく算数教室」、学校やボランティア活動者からの依頼による認知症サポーター養成講座を開催しました。
- ・相談業務については、介護保険サービス利用の相談だけでなく、認知症・精神障害の課題、家族関係や近隣とのトラブルなど多岐にわたる内容であり、幅広い対応が求められています。
- ・令和4年度は、生活支援体制整備事業との連携継続とあらたに複合的な課題を抱える世帯への支援についての取組を開始します。

1 鎌倉市地域包括支援センター連絡会等の活動

鎌倉市と地域包括支援センターとの連絡調整、情報交換・連携、センター職員の資質向上を図るため、鎌倉市地域包括支援センター連絡会を組織しています。当該連絡会は、次の委員会等を設置しており、コロナ禍において感染症拡大に配慮しオンライン会議に出席するなど効果的な運営が図れるよう積極的に参加・活動しました。

- ・管理者会議(12回)
- ・在宅医療介護連携推進委員会(8回)
- ・地域連携担当委員会(6回)
- ・認知症地域支援推進委員会(5回)
- ・総合事業検討委員会(一)
- ・事業計画検討委員会(一)
- ・研修・イベント企画運営委員会(7回)

2 地域に根ざした活動や講座等の開催

- ・ケアプラン点検をはじめとした市内の主任ケアマネジャーとの事例検討など行いました。小規模多機能型居宅介護施設等の4カ所の運営推進会議は中止となりましたが、事業の報告などを受けて鎌倉地域の事業所や施設との連携を行いました。
- ・民生委員と地域の見守り活動についての意見交換を年6回行い現状の課題などを把握に努めま

した。第一地区民児協定例会や地区社協の理事会、ケア会議のほか、西御門のふれあい広場やふらっとカフェin二階堂に参加するとともに西御門の榊の木会において「コロナ禍での地域活動や見守り」についての話し合いを8月と2月に行いました。

- ・地域での総合的な介護予防支援の一環として、社協職員・小中学校を対象とした認知症サポーター養成講座を4回開催しました。
- ・令和3年度のケア会議は「老朽化した自宅で認知症を抱えながら住み続けたいと希望しているケース」「障害者サービスから高齢者サービスへの移行時に混乱を来しているケース」「家族がグループホームに入所する事に伴い独り暮らしになるケース」などをテーマとして開催しました。
- ・虐待、生活困窮などの困難事例について鎌倉市障害福祉課・高齢者いきいき課・生活福祉課・基幹相談支援センター等の関係機関と連携し、今後の支援方法について協議しました。

3 介護予防支援のケアマネジメントの推進

介護予防支援・介護予防ケアマネジメントとは、要介護になることを可能な限り防ぎ、要介護になっても状態が悪化しないように支援することです。サービス計画の作成から管理までの一連の業務(給付管理)件数は以下のとおりです。

	給付管理 (件)	
	社協 (※1)	委託 (※2)
計	1255	927

(※1) 本会の地域包括支援センターにおいて、給付管理を行っているものです。

(※2) 利用者のサービス選択などにより、居宅支援事業者にケアプランを依頼するものです。

4 介護予防事業

(1) ティールーム (サロン活動) の開催は中止となりましたが、市民からは開催確認のための連絡があり、その都度健康状態の把握に努めました。

(2) わくわく算数教室の開催 (脳の筋力トレーニング)

会森敦子氏 (いきいき数学教室主宰) による教室を令和3年4月12日から令和4年3月7日まで9回市福祉センターにおいて開催しました。(参加者延べ 86名)

(3) 介護予防教室及び家族介護教室の開催

65歳以上の住民を対象にした介護者向けの家族介護教室を開催しました。

開催日	内容	講師	参加者 (名)
令和3年11月30日	整理収納術 部屋をすっきり!心もすっきり!	整理収納アドバイザー 逢坂万里子氏	20名
令和4年2月22日	整理収納術 PART2 部屋をすっきり!心もすっきり	新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止となりました。	

5 その他の福祉活動

(1) ケアマネサロン（鎌倉地区）の開催（1回）

地区内の地域包括支援センターと事業者の主任ケアマネジャーと協力し、地域のケアマネジャーを対象に情報交換等をオンラインにて開催すると同時に令和4年度の開催に向けての協議を行いました。

(2) 鎌倉地域の主任ケアマネジャーを対象にオンラインにて事例検討会（1回）を開催し利用者への対応やケアマネジャーへの支援について検討を行いました。

XIV 老人センター運営事業

- ・老人福祉センターでは、各種講座やサークル等の活動支援、世代間交流事業など様々な取り組みを行っており、地域の高齢者にとって活動の拠点として身近な存在として定着しています。多くの高齢者の健康増進や教養の向上、楽しく過ごせる場の提供など安全安心に気を配りながら運営しています。また、令和3年度から腰越なごやかセンターを加え、5センターの運営を行いました。
- ・令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を継続しながらの施設運営を行いました。具体的には施設内の消毒の徹底をはじめ、三密を避けるためにサークルや団体の教室等の利用人数及び講座の募集定員を半減にするとともに、入浴時間や人数の制限をしながら感染予防対策を徹底して運営しました。その結果、老人福祉センターを起因とする感染症クラスターの発生はありませんでした。
- ・例年、各センターで「フェスティバル等事業」を開催し、施設利用者の他に地域の子どもから大人まで楽しめるイベントを行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度に引き続き開催を見送りました。その代替として11月に5センター合同フェスティバル「音楽×落語の祭典」を鎌倉芸術館で開催しました。開催にあたっては、各センターの利用者協議会・懇話会委員で構成する実行委員会を設置し企画・運営を行いました。
- ・令和3年度新規事業のとして、多世代交流事業の実施に取り組みました。専任職員を教養センターに配置し、各センターで土曜日・日曜日・祝日に月1回の実施を予定していましたが、まん延防止等重点措置期間は、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から開催を見送りました。また、ワゴン車による利用者送迎の実施に取り組み、腰越なごやかセンター・今泉さわやかセンター・玉縄すこやかセンターに運転手を配置し、月曜日から土曜日まで運行を行いました。
- ・名越やすらぎセンターのマイクロバスの運行については、令和2年度までは運行業務を委託してきましたが、令和3年度から専任の運転手（職員）を配置し、市社協自前での運行を開始しました。また、従来のルートに加えて材木座ルートを追加し、利用者の利便性の向上を図りました。

1 利用状況

月	名越やすらぎセンター	腰越なごやかセンター	教養センター	今泉さわやかセンター	玉縄すこやかセンター	計(名)
4	1,420	2,003	2,768	1,672	1,460	9,323
5	1,245	1,605	2,578	1,546	1,232	8,206
6	1,466	1,418	2,612	1,768	1,429	8,693
7	1,301	1,332	1,432	1,703	1,295	8,063
8	1,240	1,268	1,455	1,580	1,141	6,684
9	1,271	1,500	2,708	1,817	1,277	8,573
10	1,499	1,919	3,805	1,955	1,395	10,573
11	1,463	2,069	3,116	1,949	1,497	10,140
12	1,271	1,957	2,420	1,833	1,393	8,874
1	1,245	1,798	2,256	1,668	1,321	8,288
2	1,210	1,767	2,102	1,513	897	7,489
3	1,536	2,047	2,399	1,999	470	8,451
計	16,213 [10,442]	20,683 [—]	30,651 [19,504]	21,003 [13,929]	14,807 [9,306]	103,357 [—]

※ 腰越なごやかセンターは、5/19～9/16の間、コロナウイルスワクチン接種会場のため週2回休館

2 利用者協議会・懇話会、サークル代表者会議の開催

施設名	利用者懇話会(回)	サークル代表者会議(回)
名越やすらぎセンター	2 [1]	0 [0]
腰越なごやかセンター	6 [-]	2 [-]
教養センター	4 [3]	2 [3]
今泉さわやかセンター	1 [2]	0 [0]
玉縄すこやかセンター	1 [2]	0 [0]

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の会議は書面で開催しました。

3 フェスティバル等事業の開催

施設名	イベント名	参加人数(名)
名越やすらぎセンター	夏まつり	開催見送り
	フェスティバル	
腰越なごやかセンター	敬老祝賀行事	開催見送り
	フェスティバル	
教養センター	文化祭	開催見送り
	サークル作品展・舞台発表	作品展 10/6～10/11 舞台発表 10/6 延べ 668

今泉さわやかセンター	敬老祝賀行事	開催見送り
	フェスティバル	
玉縄すこやかセンター	フェスティバル	開催見送り

◆5センター合同フェスティバルの開催（5施設合同事業）

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、各センターでのフェスティバルの開催を見送り、合同事業を開催しました。

イベント名	開催場所・内容	参加者（名）
音楽×落語の祭典	鎌倉芸術館 小ホール 11/12 第一部：フルート演奏 第二部：落語	265

4 軽スポーツ・教養講座等各種講座の開催

施設名	講座種類	内 容	参加者（名）
名越やすらぎセンター	専門講座 〈4 講座〉	鎌倉生まれのバラを育てる／アロマの夏用ウィルス対策／健康とお薬のお話し／鎌倉の社寺建築基礎知識	延べ 274 [85]
	健康づくり講座 〈5 講座〉	転ばぬ先の筋力アップ／口腔ケア講座／脳いきいき！臨床美術／フレイル予防活動会／高齢者の栄養について	
	生活講座 〈1 講座〉	防犯講座	
	地域福祉推進事業 〈0 講座〉	夏休み体験教室（中止）／字幕付き邦画鑑賞会（中止）	
腰越なごやかセンター	専門講座 （1 講座）	初めてのリコーダー	延べ 894 [-]
	健康づくり講座 〈4 講座〉	ふまねっと運動／囲碁ポール／カラオケ体操／フレイル予防活動会	
	生活講座 〈3 講座〉	やってみよう！ZOOM／夫婦・親子で考える相続・介護の対策／防犯講習～詐欺	
	地域福祉推進事業 〈2 講座〉	なごやかギャラリー展（サークル作品展）／サークル動画発表会	
教養センター	一教教養講座 〈24 講座〉	<p>＜春期分＞芥川龍之介の憧憬／北条義時とその時代／徳川家光と禅僧沢庵／侘び・さびの世界山アジサイ／宇宙と地球と生命と／鎌倉を描く／太宰治と鎌倉／無理のない食事療法</p> <p>＜夏期分＞オーボエとフルート／鎌倉に住む『古事記』の神様</p> <p>＜秋期分＞相模湾のお話／湘南モノレールの歴史／中世石造物の世界／クラシック音楽の愉悦／妙見信仰の民俗学的展開／芥川龍之介と高濱虚子／鎌倉殿ゆかりの地を巡る／七福神と鎌倉</p> <p>＜冬期分＞競技かるたの魅力／芥川龍之介と漱石／相撲のたのしみ方／祭りと季節／暮らしを彩る天気学／好奇心をいつまでも！！</p>	延べ 8.883 [4.535]

	<p>専門講座 〈20 講座〉</p> <p>健康づくり講座 〈8 講座〉</p> <p>年間講座 〈4 講座〉</p>	<p>＜春期分＞中世社会の諸相／漢文に親しむ／花とセンスのお教室／ベストを編みましょう／夏目漱石を読む。／名画で読み解く聖書物語</p> <p>＜秋期分＞庭木の手入れ教室／伊勢物語とその周辺／竹細工の基本／新しい鎌倉時代像をもとめて／書を愉しむ／漢文に親しむ／鎌倉雑学あれこれ／名画で読み解く聖書物語</p> <p>＜冬期分＞基礎から学ぶ防災・減災／蝶とさくらんぼ／男性のためのボランティア講座／バードカービング</p> <p>＜春期分＞始めよう！健康体操／ポールウォーキング／ヨガ教室</p> <p>＜秋期分＞コーディネーション運動／ヨガ教室／ポールウォーキング</p> <p>＜冬期分＞コーディネーション運動／ヨガ教室</p> <p>東海道を落語で巡る／韓国語入門／源氏物語を読みとく／芥川龍之介・名作の条件</p>	
今泉さわやかセンター	<p>専門講座 〈4 講座〉</p> <p>健康づくり講座 〈8 講座〉</p> <p>生活講座 〈3 講座〉</p> <p>地域福祉推進事業 〈4 講座〉</p>	<p>囲碁教室／絵で読む源氏物語／冬のゆったりアロマセラピー／季節のおりがみ</p> <p>さわやか健康体操／脳トレ・体操で元気アップ／はじめてのピラティス／じはじめてのヨガ／自分の手でできる免疫力アップ／60 歳からの健康体操／フレイル予防活動会／今日から筋トレ、能力アップ</p> <p>自分と家族を守る遺言／特殊サギ被害にあわないために／防災</p> <p>さわやかコンサート／字幕付き邦画鑑賞会／クリスマスコンサート</p>	延べ 251 [127]
玉縄すこやかセンター	<p>専門講座 〈8 講座〉</p> <p>健康づくり講座 〈4 講座〉</p> <p>生活講座 〈1 講座〉</p>	<p>歴史講座「“俳優”でたどる日本映画史」／文学講座「夏目漱石 人と作品」／おりがみ教室（2回）／歴史講座「アメリカ映画からみえてくるもの」／文学講座「芥川龍之介と鎌倉」／ポマンダーづくり／パソコン教室</p> <p>口腔ケアと口腔体操／キューピー「楽しく食べて健康に」／骨密度・血管年齢を知ろう／フレイル予防活動</p> <p>60 代から始める生前整理</p>	延べ 219 [202]

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座募集人数を半数に減らして実施。

5 車椅子の貸出及び各種相談事業の実績

単位：件数

施設名	車椅子貸出	福祉・介護専門相談	福祉法律相談
名越やすらぎセンター	10 [0]	10 [45]	—
腰越なごやかセンター	0 [-]	5 [-]	1 [-]
教養センター	0 [0]	26 [9]	2 [0]

今泉さわやかセンター	1 [1]	3 [6]	1 [1]
玉縄すこやかセンター	6 [3]	5 [4]	1 [3]

6 世代間交流（多世代交流事業）の実施

施設名	実施回数	内 容	参加人数
名越やすらぎセンター	5	七夕飾り教室／体幹トレーニング／いやしのフラダンス／ステンシルを楽しむ／クリスマスリース作り	延べ 37
腰越なごやかセンター	8	竹で遊ぼう／囲碁ボール／絵手紙教室／クラフトテープでバッグ作成／葉脈標本でしおりづくり／Let's ピラティス／トールペイント教室／元気になる体操	延べ 94
教養センター	6	ポールウォーキング／茶道交流／豆腐作り教室／寄せ植えづくり教室／絵画教室／消しゴムはんこ	延べ 58
今泉さわやかセンター	8	囲碁を学ぶ／絵手紙教室／折り紙教室／太極拳教室／落語の楽しみ方／クリスマスオーナメントづくり／ストレッチ教室／なまった身体をほぐす運動教室	延べ 61
玉縄すこやかセンター	8	囲碁を学ぶ／ハンギング講座／書道教室／流木アート／生き物育成講座／鎌学生徒とマジック体験／レジキョーホルダーづくり／写経入門	延べ 82
5 センター 合計			延べ 332

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、まん延防止等重点措置期間は実施を見送り。

7. マイクロバス・ワゴン車送迎の運行実績

	年間利用者数
名越やすらぎセンター【マイクロバス】	14,395
腰越なごやかセンター【ワゴン車】	1,527
今泉さわやかセンター【ワゴン車】	461
玉縄すこやかセンター【ワゴン車】	664